

戸籍の窓口

6月15日現在

◎お誕生おめでとう

内田こはる^{ちゃん}(秀^{さん}) 矢越
福田佳寿海^{ちゃん}(義直^{さん}) 大佐井

◎おくやみ申し上げます

瀧本久代^{さん}(政利^{さん}) 長後
館脇純一^{さん}(繁樹^{さん}) 矢越
宮川守^{さん}(平生^{さん}) 矢越
磯川正彦^{さん}(一世^{さん}) 磯谷
菊池みや^{さん}(繁^{さん}) 古佐井
今はの^{さん}(道地春代^{さん}) 古佐井
金澤弘泰^{さん}(達也^{さん}) 原田
石塚了崇^{さん}(友大^{さん}) 古佐井

※個人のプライバシーを尊重する意味で、掲載して欲しくない方は、届出の際、担当に申し出てください。

佐井村の人口

5月31日現在

男	1,149 (+1)	計	2,270 (±0)
女	1,121 (-1)	世帯数	1,009 (-2)
()内は前月比			



満1歳
おめでとう!!

蒔田 利星^{りほ}ちゃん

(剛広さん・奈奈子さん
古佐井)



ジオパークってなあに？

最近、新聞やテレビなどいろいろなところで「ジオパーク」という言葉を見たり聞いたりしませんか？ 見たり聞いたりするけど、何なのかわからないって人が多いと思います。

今回、広報さいではその「ジオパーク」について紹介します。まず、ジオパークについてですが、ギリシャ語で地球や大地を意味する「ジオ」と英語で公園を意味する「パーク」を組み合わせた言葉で、「大地の公園」と言われています。地層、岩石、火山など地域に存在する資源と人間の関わりを楽しく学べる自然公園です。

今、下北でこのジオパークについて活動しているのが、『下北ジオパーク構想推進協議会』です。現在、日本ジオパークとして認定されるべく、むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村の市町村がまとまって行っています。

下北のジオパークが目指すもの

下北地域でジオパークに取り組む意義は、『50年後、100年後も賑わいのある地域づくり』にあります。

ジオパークを考えることによって「地域の大事なものを」を改めて再認識することができると思います。「誰もが、将来にわたって訪れる下北」を目指していきましょう。

下北で紹介される場所(ジオサイト)

下北管内ではさまざまな場所が対象となりますが、佐井村では仏ヶ浦や縫道石山、福浦岩体などがジオサイトとなります。今回は数あるジオサイトから、むつ市脇野沢村の鯛島を紹介しします。横から見ると鯛が泳いでいるような形に見えることから名前がつけられました。この鯛島には脇野沢村にまつわる悲しい恋の伝説があり、ストーリー性あるジオサイトとなっています。

今回、下北ジオパーク構想推進協議会でロゴマークを作りましたので、紹介させていただきます。

また、活動内容としては、facebookにて『下北半島ジオパーク』という名で活動内容を掲載しています。



むつ市脇野沢村の鯛島



下北ジオパーク構想推進協議会のロゴマーク